

受験番号：

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和8年7月15日)

申請者名(法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から17の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()内に記入しなさい。

問題1 (定義)

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業をいう。(貨物自動車運送事業法)

()

問題2 (一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報の公表)

一般貨物自動車運送事業者等は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定による処分(輸送の安全に係るものに限る。)を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題3 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、毎事業年度に係る事業報告書を毎事業年度の経過後150日以内に国土交通大臣又は所轄地方運輸局長に提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

()

問題 4 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者を選任するときは、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 5 (交通事故の場合の措置)

交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法)

()

問題 6 (点呼等)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務に従事しようとする運転者等に対し、対面により、又は対面による点呼と同等の効果を有するものとして国土交通大臣が定める方法(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行い、酒気帯びの有無、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無及び道路運送車両法による点検の実施又はその確認について報告を求め、及び確認を行い、並びに事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 8 (事故の記録)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において 3 年間保存しなければならない

い。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 9 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第 7 条第 3 項に規定する業務を含む運行ごとに、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 10 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、国土交通省令で定める軽微な事項に関する事業計画の変更をしようとするときは、あらかじめその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 11 (異常気象時等における措置)

貨物自動車運送事業者は、異常気象その他の理由により輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、乗務員等に対する適切な指示その他輸送の安全を確保するために必要な措置を講じなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 12 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 13 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

一般貨物自動車運送事業者は、荷主に対し、不当な運送条件によることを求め、その他公衆の利便を阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 4 (運行管理規程)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行管理者の職務及び権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 5 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、継続して取引する相手方(新たに継続して取引しようとする相手方を含む。)に対して、自己のために金銭、役務その他の経済上の利益を提供させることは、不公正な取引方法となる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 1 6 (運行管理者の指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者等は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、運行管理者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 7 (定義)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車踏切において鉄道車両と接触したが、負傷者が生じなかったとき、国土交通大臣に当該事故を報告する必要はない。(自動車事故報告規則)

()

Ⅱ. 次の問題 18 から 25 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 18 (許可の基準)

国土交通大臣は許可の基準を定めているが、次のア～ウのうち誤っているものを 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
- イ. 事業を継続して遂行するために適切な計画を有するものであること。
- ウ. 事業を自らの確に、かつ、一時的に遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

()

問題 19 (自動車に関する表示)

次の文中にあてはまる正しいものをア～ウの中から 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(道路運送法)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、() その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

- ア. 住所及び連絡先 イ. 名称又は記号 ウ. 営業所及び所在地

問題 20 (事業の譲渡し及び譲受け等)

次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 事業の譲渡し及び譲受け
- イ. 法人の合併及び分割
- ウ. 事業の休止及び廃止

()

問題 21 (届出)

次の内、事業者が地方運輸局長等に届出なければならない事項として誤っているも

のを1つ選び()内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運輸を開始した場合
- イ. 事業者の氏名・名称又は住所に変更があった場合
- ウ. 新たに雇用した従業員が社会保険(厚生年金及び健康保険)に加入した場合

()

問題22(変更登録)

次の文中の()内にあてはまる語句をア～ウから選び、()内に記号で記入しなさい。(道路運送車両法)

自動車の所有者は、登録されている型式、車台番号、原動機の型式、所有者の氏名若しくは名称若しくは住所又は使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から()以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

- ア. 7日
- イ. 15日
- ウ. 30日

問題23(過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者等が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ選び()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 三月以内の期間を定めて使用される者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

() ()

問題24(運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者等ごとに一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えて置かなければならないことになっています。台帳に記載しなければならないものについて次の中から正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 運転者等の本籍地 ()
- イ. 雇入れの年月日及び運転者等に選任された年月日 ()

ウ．運転者等の健康状態

()

問題 2 5 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年 2 月 9 日労働省告示第 7 号）によって定められています。次の中から正しいものを 3 つ選び記入しなさい。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

- ア．拘束時間は、1 箇月について 3 9 3 時間を超えないものとする。
- イ．1 日についての拘束時間は、1 3 時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、1 5 時間とする。
- ウ．勤務終了後、継続 1 0 時間以上の休息期間を与えるよう努めること。
- エ．運転時間は、2 日を平均し 1 日当たり 9 時間、2 週間を平均し 1 週間当たり 4 4 時間を超えないものとする。
- オ．連続運転時間は、4 時間を超えないものとする。

() () ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (解答)
(令和8年7月15日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から17の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()内に記入しなさい。

問題1 (定義)

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業をいう。(貨物自動車運送事業法第2条第1項)

(正) 貨物軽自動車運送事業を含む

(×)

問題2 (一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報の公表)

一般貨物自動車運送事業者等は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定による処分(輸送の安全に係るものに限る。)を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第2条の8第2項)

(○)

問題3 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、毎事業年度に係る事業報告書を毎事業年度の経過後150日以内に国土交通大臣又は所轄地方運輸局長に提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則第2条第1項)

(正) 100日以内

(×)

問題 4 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者を選任するときは、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法第 16 条第 3 項)

(正) 選任したときは、遅滞なく

(×)

問題 5 (交通事故の場合の措置)

交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法第 72 条第 1 項)

(○)

問題 6 (点呼等)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務に従事しようとする運転者等に対し、対面により、又は対面による点呼と同等の効果を有するものとして国土交通大臣が定める方法(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行い、酒気帯びの有無、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無及び道路運送車両法による点検の実施又はその確認について報告を求め、及び確認を行い、並びに事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 7 条第 1 項)

(○)

問題 7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。(貨物自動車運送事業法第 28 条第 1 項)

(正) 利用させてはならない

(×)

問題 8 (事故の記録)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において 3 年間保存しなければならない

い。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の2)

(○)

問題9 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第7条第3項に規定する業務を含む運行ごとに、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の3第1項)

(○)

問題10 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、国土交通省令で定める軽微な事項に関する事業計画の変更をしようとするときは、あらかじめその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法第9条第3項)

(正) 変更をしたときは、遅滞なくその旨を

(×)

問題11 (異常気象時等における措置)

貨物自動車運送事業者は、異常気象その他の理由により輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、乗務員等に対する適切な指示その他輸送の安全を確保するために必要な措置を講じなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第11条)

(○)

問題12 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法第10条第1項)

(○)

問題13 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

一般貨物自動車運送事業者は、荷主に対し、不当な運送条件によることを求め、その他公衆の利便を阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法第26条第1項)

(○)

問題14 (運行管理規程)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行管理者の職務及び権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第21条)

(正) 届出義務なし

(×)

問題15 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、継続して取引する相手方(新たに継続して取引しようとする相手方を含む。)に対して、自己のために金銭、役務その他の経済上の利益を提供させることは、不公正な取引方法となる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第2条第9項)

(○)

問題16 (運行管理者の指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者等は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、運行管理者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第22条)

(○)

問題17 (定義)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車踏切において鉄道車両と接触したが、負傷者が生じなかったとき、国土交通大臣に当該事故を報告する必要はない。(自動車事故報告規則第2条)

(正) 自動車事故報告規則第2条第1号において、鉄道車両(軌道車両を含む)と衝突し、若しくは接触した場合、届出が必要である。

(×)

Ⅱ. 次の問題 18 から 25 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 18 (許可の基準)

国土交通大臣は許可の基準を定めているが、次のア～ウのうち誤っているものを 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第 6 条)

- ア. 事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
- イ. 事業を継続して遂行するために適切な計画を有するものであること。
- ウ. 事業を自らの確に、かつ、一時的に遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

(正) ア. ○ イ. ○ ウ. 継続して

(ウ)

問題 19 (自動車に関する表示)

次の文中にあてはまる正しいものをア～ウの中から 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(道路運送法第 9 5 条)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、(イ) その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

- ア. 住所及び連絡先 イ. 名称又は記号 ウ. 営業所及び所在地

問題 20 (事業の譲渡し及び譲受け等)

次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第 30 条第 1 項、第 2 項、第 32 条)

- ア. 事業の譲渡し及び譲受け
- イ. 法人の合併及び分割
- ウ. 事業の休止及び廃止

(ウ)

問題 21 (届出)

次の内、事業者が地方運輸局長等に届出なければならない事項として誤っているものを1つ選び（ ）内に記号で記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1項）

- ア. 運輸を開始した場合
- イ. 事業者の氏名・名称又は住所に変更があった場合
- ウ. 新たに雇用した従業員が社会保険（厚生年金及び健康保険）に加入した場合

（ **ウ** ）

問題22（変更登録）

次の文中の（ ）内にあてはまる語句をア～ウから選び、（ ）内に記号で記入しなさい。（道路運送車両法第12条第1項）

自動車の所有者は、登録されている型式、車台番号、原動機の型式、所有者の氏名若しくは名称若しくは住所又は使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から（ **イ** ）以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

- ア. 7日
- イ. 15日
- ウ. 30日

問題23（過労運転の防止）

一般貨物自動車運送事業者等が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ選び（ ）に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第2項）

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 三月以内の期間を定めて使用される者
- ウ. 試みの使用期間中の者（14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）

（ **ア** ）（ **ウ** ）

問題24（運転者台帳）

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者等ごとに一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えて置かなければならないことになっています。台帳に記載しなければならないものについて次の中から正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の5第1項）

- ア. 運転者等の本籍地 (☒)
イ. 雇入れの年月日及び運転者等に選任された年月日 (☐)
ウ. 運転者等の健康状態 (☐)

問題 2 5 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められています。次の中から正しいものを3つ選び記入しなさい。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第4条第1項）

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間を超えないものとする。
イ. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
ウ. 勤務終了後、継続10時間以上の休息期間を与えるよう努めること。
エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。
ア. 284時間 イ. ☐ ウ. 継続11時間以上 エ. ☐ オ. ☐
(☒) (☒) (☒)

貨物自動車運送事業法令試験実施結果
(令和8年7月)

中部運輸局

令和8年7月15日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	111	104	93.7%